



野 月 一 博
(高志会)

定住自立圏 市長の思いは

共同中心市の三沢市と

一丸で取り組む

議員 上十三・十和田湖広域定住自立圏は共生ビジョンが策定され、今年度から具体的な取り組みがスタートするが、推進に当たり、市長の思いは。

ダーシップと責任感を持ち、共同中心市である三沢市と緊密に連携、協力し一丸となって取り組んでいきます。

の影響が解消されます。また、奥入瀬溪流の通行を規制することが可能になれば、新たな観光資源になるとも考えています。



リーダーシップで、圏域の連携を

市長 定住自立圏の取り組みは短期的な利益を求めものではなく、十年、二十年先を見据えた中長期的なものです。圏域構成市町村と連携し、急速に進む人口減少、少子高齢化の中でも生活機能を確保し、住民が安心して暮らすことができる圏域の形成を図るとともに、この圏域が持つ豊かな地域資源を複合的に活用し、より一層の発展に向けて取り組んでいきます。そのため、中心市として果たす役割をしっかりと自覚し、圏域自治体の調整を図るため、リー

議員 青檮山バイパスの完成によるメリットは。

市長 災害により、たびたび通行どめになっていた国道一〇三号が安全

に通行できるようになり、奥入瀬溪流の渋滞解消や排気ガス等による樹木へ

議員 市民参加によるまちづくりの取り組みは。

市長 市民、議会、行政の協働による市民主体

のまちづくりを推進し、多様化する市民のニーズへの対応や、迅速かつ的確なサービスの提供を目指し、地域づくりや町内会活動、市民活動支援情報などのまちづくりに関連する業務を集約し、市民活動の積極的な支援を行うまちづくり支援課を設置しました。また、元気な十和田市づくり市民活動支援事業は、コースの新設や予算額をふやすなどの拡充をしています。

駒っこランドに雪の滑り台を

設置に向け、指定管理者と協議する



小 村 初 彦
(公明党)

議員 駒っこランドは

冬季の誘客に苦勞している。小さな子供たちを対象に、スキーやそり遊びができるような場を設けてはどうか。

観光商工部長 そり遊びなどを雪の滑り台は、集客に有効であるとも

に、親子で気軽に楽しむことができることから、雪を盛り上げるなどの方法で設置するよう、指定管理者と協議していきます。

議員 市道牛泊前谷地線の大学通りから北側では、交差点での交通事故が多発している。今後の交通規制対策や道路整備は。

建設部長 事故が多いことは認識しており、一時停止カラーゾーンの設置を計画しています。また、一時停止等の交通規制は公安委員会の所管なので、速やかに協議を進め、安全対策を講じます。



早急に安全対策を

議員 市道牛泊前谷地線について、稻生川の橋設置は。

建設部長 今年度、ボックスカルバート橋にて施工する予定です。公安委員会との協議では、架橋に伴う信号機の設置については、供用後の交通状況を見てからとし、当面は規制標識で対応することになっています。

議員 福島県会津若松市では、水道事業の第三者委託により、年間一億三千七百万円の削減効果があった。当市でも実施する考えは。

市長 現在、簡易水道の上水道編入、老朽管の更新及び耐震化等の計画的な整備と集中管理体制の構築による水質監視強化と、管理の二元化による維持管理経費の削減を図っていますが、水需要の落ち込みなどにより、一層の経営努力が求められています。第三者委託については、将来的な課題として研究していきたいと考えています。

※ボックスカルバート：地中に埋設される箱型の構造物で、道路、水路などの収容に使用される。